

子育て中の

パパ・ママ よんで!

for PAPA・MAMA

幼児期用リーフレット No.2

絵本の読み聞かせ編

～いい本に出会うことは、いい人に出会うことと同じ～

子どもの頃に見たものや経験は、子どもの人格形成に深いかかわりを持つといわれています。お話を聞かせて、未知の世界を経験させてあげてください。喜びを敏感に感じとる心や悲しみに耐える心が養われるほか、喜びに向かって伸びようとする心が育ったりします。忙しい毎日の中、少しでも子どもと一緒に絵本に触れる時間を作ってみませんか？子どもと一緒に本を楽しんでくれるひと時を待っています。

どうやって読んだらいいの？



①読み方にルールはありません

「うまく読めない」と力まないで、できるだけゆっくりと、心を込めて読んであげれば大丈夫。ただ、お話を聞くことが苦痛にならないよう無理強いせず、親子で楽しむことを最優先にしましょう。

②絵を楽しみましょう

子どもは絵本に描かれた絵を見て、想像力を広げながら絵本の世界を楽しんでいます。急いでページをめくらず、子どもの様子を見ながら、絵を十分に見せてあげましょう。



③「楽しかった？」などの感想は聞かない

子どもはまだ心に感じたことを正しく表現する言葉を知りません。せっかく心の中に広がったファンタジーな世界が台無しになってしまうことも・・・。お話の余韻を大切にしましょう。

【先輩ママのアドバイス】

「子どもが飽きてきたなあ」と思ったら、紙芝居や大型絵本を読むように工夫しています。

私自身もリフレッシュできます！



～絵本選びに迷ったら～ 絵本の選び方 ワンポイントアドバイス！

- **子どもの興味があるもの**
車が好きななら車載っている本、洋服が好きなら洋服が載っている本・・・というふうに、その時、子どもが興味を示しているものの絵本を選んでみては。
- **くり返しの言葉や場面がでてくるもの**
擬音語「ニャーニャー」や濁音「ぶうぶう」といった言葉がくり返し入っている絵本は、とても喜んで聞いてくれるかも。
- **年中行事や日本の伝統文化を紹介しているもの**
七夕や節分、お正月など、季節やイベントに合わせた絵本を選び、子どもに教えてあげるのもオススメ。



ママ推薦!!

おすすめ絵本



OSUSUME 1 【ぶきゅっ】

作・絵：かさい まり
アリス館

なかなか言葉が出ない赤ちゃんを心配する、きょうりゅうのお父さんとお母さんのお話です。子どもの成長の早い・遅いに一喜一憂するママにとって、この絵本はいいメッセージになると思います。

mama's voice



OSUSUME 2 【もったいないばあさん】

作・絵：真珠 まりこ
講談社

もったいないことをすると、もったいないばあさんがやって来る！この絵本を読んでから、子どもの食べ残しも少なくなりましたし、何より私自身ももったいない事ができなくなりました。

mama's voice



OSUSUME 3 【みんなうち】

作・絵：五味 太郎
福音館書店

タイトルを見て、子どもが好きそうだなあ～と思って読んでみました。カラフルな絵で動物もたくさん出てくるので、小さい子でも楽しめる絵本だと思います。

mama's voice



OSUSUME 4 【あめこんこん】

作：松谷 みよ子 絵：武田 美穂
講談社

「あめこんこん ふってるもん。うそっこだけど ふってるもん」というモモちゃんのセリフがとても可愛くてほのぼのとした気持ちになる一冊です。雨の日が楽しみになる絵本です。

mama's voice



OSUSUME 5 【どろんこハリー】

作：ジーン・ジオン
絵：マーガレット・ブロイ・グレアム
訳：わたなべ しげお
福音館書店

おふろが大嫌いなのに、どろんこになってしまう犬、ハリーのお話です。色づかいは少ないですが、可愛い絵に素敵なストーリー。最初は地味な表紙に興味を示さなかった子どもも、読み始めるとお話の世界に引き込まれていきました。

mama's voice



OSUSUME 6 【これだれの?】

作：みやこし あきこ
ブロンズ新社

職業にまつわる色々な道具や衣装が紹介されています。「これだれの?」と言いながらページをめくり、子どもとクイズ形式で楽しんでいます。

mama's voice

「子育ての悩みに役立った!」絵本



OSUSUME 7 【おこだでませんように】

作：くすのき しげのり 絵：石井 聖岳
小学館

涙が出てしまいました。まるで日々の自分と息子のようで…。子どもの気持ちをもっと大事にしてあげたいです。子ども以上に大人の心に響く本だと思います

mama's voice



OSUSUME 8 【ちょっとだけ】

作：瀧村 有子 絵：鈴木 永子
福音館書店

赤ちゃんが産まれてお姉ちゃんになったから、お母さんと手を繋ぎたいのも、髪の毛を結んでもらうのもちょっとだけ我慢。子ども達を思い切り抱きしめたくくなりました。

mama's voice

※紹介した絵本はすべて、亀山市立図書館で借りることができます。

編集後記

絵本は親子で共に感じ合う体験をさせてくれる、身近な子育ての味方です！忙しいと忘れてしまいがちですが、子育ての時間は限られています。今しかない我が子とのかけがえのない時間を一緒に楽しむ一つの手段として、私も絵本を選びたいと思います。

「パパ・ママよんで!」編集委員 奥田 春奈

